

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	23 27	「自分史ノート」を記入することで、ご入居者の希望や思いを汲みとり、職員間で共有しようとしているが、それを次に展開できていない。	・自分史ノート記入の継続 ・会話の中でご入居者の気持ち、思いが聞けるような声かけを心掛ける。	定期的(職員会議)に「自分史ノート」を基に個々の思いや希望をまとめ、ケアプランへ繋げる。	12ヶ月
2	2	散歩や近隣のスーパーへの買物、地域のボランティアの受入など地域との交流は行っているが、グループホームで催しをして地域の方に立ち寄って頂くというようなことはできていない。	地域との交流の拡大	地域包括支援センターの開催する地域ケア会議や介護リフレッシュ教室等に職員が参加し、会議・教室終了後に地域の方にグループホームに見学に来てもらうなどし、交流を図る。	12ヶ月
3	8	成年後見制度について定期的に勉強会を行っているが、実際に利用されているご入居者がいないため、制度に対する職員の認識が薄い。	権利擁護に関する理解度をより高める。	地域包括支援センター職員に講師を依頼し、勉強会を開催する。	6ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。